

バンクーバーの ゴールド・ラッシュ

オリンピックのアスリートたち

金を目指して、世界中からカナダのブリティッシュ・コロンビア州の都市バンクーバーにアスリートたちが集まってきた。彼らは練習に励み、体調を整え、第21回冬季オリンピックで自国を代表する権利を勝ち取ってきた者たちだ。

アスリートであるならば、オリンピ



ックでの金メダル獲得は人生における一つの大きなゴールであり、スポーツにおける勝利の究極の形であると考え。そして、このバンクーバーのオリンピック会場の表彰台で、美しい装飾が施された金メダルが彼らの首にかけられるとき、その夢が現実のものとなる。

ブリティッシュ・コロンビア州、バンクーバー

ブリティッシュ・コロンビア州はカナダの最西端にある州で、自然の美しさで有名である。その美しさは、州の標語である「不朽の美」（ラテン語で



splendor sine occasu) という言葉にも現れている。この州の海岸線は、驚くべきことに17,000マイル(約27,200キロメートル)にも及び、また険しい山のように見えるフィヨルドのほか、およそ6000もの離島を含んでいる。バンクーバーはそのブリティッシュ・コロンビア州で最大の都市であり、都市圏での人口は200万人を誇る。2003年に、オリンピック委員会はこの都市を2010年の冬季オリンピックの開催地に決定した。

ブリティッシュ・コロンビア州のゴールド・ラッシュ

オリンピックで金メダルを追い求める姿は、この地域でかつて起こった一大ムーブメントを思い起こさせる。その当時の人々も、金を頭に思い描いていた。それは、1858年にトンプソン川で金が見つかったことを皮切りに起こったフレーザー・キャニオンでのゴールドラッシュである。3万人を超える人々がブリティッシュ・コロンビアに集まってきた。文献によると、このゴールドラッシュでは、スカン



トンプソン川

ジナビア半島、イタリア、ベルギー、フランス、ハワイ、メキシコ、西インド諸島、カナダ、アメリカ、そしてその他のヨーロッパ諸国から人々がつめかけた。その中には金を発見し成功を収めたものもいたが、悲しいことにほとんどの者は金を見つけることはできなかった。観光客はこのゴールドラッシュのあった場所を訪れ、成功と失敗、死と病、そして困難と苦痛の物語を聞くことができる。金を追い求めてくる者たちにとって、2010年のゴールドラッシュは、当時のゴールドラッシュに比べると遥かに快適なものになるだろう。

ゴールドでできた都市

金の歴史は、人類の歴史の草創期まで遡る。聖書の創世記第二章には、既に金に関する記述がでてくる。エデンの園（最初の男と女の居住地）のあった地域に関して、聖書は次のように記している。

エデンから一つの川が流れ出ていた。園を潤し、そこで分かれて、四つの川となっていた。第一の川の名はピションで、金を産出するハビラ地方全域を巡っていた。その金は良質であり、そこではまた、琥珀の類やラピス・ラズリも産出した。（創世記2章10～12節・新共同訳）

全ての金属の中で最も貴重なものである金は、人類のどの文明の歴史においても必ずその存在を認めることができる。金は常に価値あるものとされ、人々は様々な金産業に人生を費やしてきた。宝飾、硬貨、あらゆる類の装飾品に金が用いられてきたという歴史上の記録は枚挙にいとまがない。

聖書には、少なくとも360カ所で金についての言及がある。面白いことに、聖書の最後の書であるヨハネの黙示録には、魅力的な黄金都市の記述がある。事実、この天国のような場所の道路は金で

きていると記されている。

「都の大通りは、透き通ったガラスのような純金であった。」(黙示録21章21節)

この金でできた驚くべき都市は、創造主なる神の造られる天の御国である。人を創造された方は、かつてエデンの園でもなされたように、ご自分の民のために新しい家をお造りになられる。

創造主とゴールド

人は、どうすればこの黄金都市に行くことができるのだろうか。どうすれば創造主について、そして天国についての真実を見出すことができるのか。どうすれば永遠について知ることができるだろうか。

これらの問いの答えは、全世界で歴史上ナンバーワンのベストセラー書籍である聖書の中に見つけることができる。聖書は、創造主なる神の啓示によって書かれており、完全に信頼に足る書物で、この世での生活も助け、永遠の命に対する希望を与えるものである。最上の金属であるゴールドを造られた方はまた、最上の被造物である人間をもお造りになった。

「神(創造主)は仰せられた。『さあ人を造ろう。われわれのかたちとして、われわれに似せて。』(創世記1章26節)

「創造主なる神は土地のちりて人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。」(創世記2章7節)

人間は完璧なものとして造られた。最初の人アダムとその妻エバの住む園には、罪、病気、また死すら存在していなかった。そのエデンの園における恵みの極みの中、創造主が与えた唯一の規則は次のようなものであった。

「善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べる時、あなたは必ず死ぬ。」(創世記2章17節)

エデンの園に住まうこの夫婦は、創造主に対して罪を犯したばかりのサタン(全ての偽りの父)に直面する。サタンは蛇を操り、創造主の言葉、創造主の性質、そして創造主の真実性に対する疑問を彼らに投げかけた。

「蛇は女に言った。『あなたがたは、園のどんな木からも食べてはならない、と神(創造主)は、ほんとうに言われたのですか。』」(創世記3章1節)

サタンの偽りに満ちた誘惑に負け、自分たちが創造主なる神のようになれるかもしれないと驕り高ぶった彼らは、創造主の与えた唯一の規則に直接背く行為である禁断の木の実を食べた。そしてその瞬間、罪、死、そして病が、彼らの生活の中に現実のものとして現れた。この日は、人類史上、最も嘆くべき悲劇の日となったのである。創造主は、エデンの園から彼らを追い出し、彼らと彼らの住むことになる世界の上に呪いをかけた。この呪いは今日においても、死という形で終わるあらゆる種類の悲劇の中に見ることができる。

このアダムとエバが犯した最初の罪は、創造主なる神と人類とを切り離した。そして全ての人間は生まれながらにして罪人であり、永遠にさまよい、地獄へと堕ちる運命にある、と聖書は私たちに伝えているのである。(ルカの福音書12章5節)

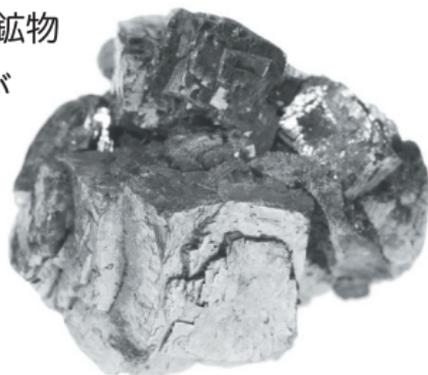
「罪から来る報酬は死です。しかし、神(創造主)の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」(ローマ人への手紙6章23節)

しかし創造主は、人類に対するその驚くべき愛の

ゆえに、つまりこの文章を読んでいるあなたのために、素晴らしい計画を用意しておられた。創造主なる神が、キリスト・イエスを通して、私たちにその愛を教えてくださいましたのだ。イエスは、私たちそれぞれが（偶然の存在ではなく）特別な存在であることを教えてくださいました。そして、私たちの罪をその身に負い、私たちが自分で支払うべき死の代価を代わりに支払ってくださった。創造主は今、あなたのあらゆる罪に対する完全な赦しを提供している。あなたがイエスに信頼するなら、死後も永遠に生き、ゴールドでできた天国の住人になれると、創造主は約束して下さっておられる。

本物か偽物か

ゴールドラッシュのとき、鉱物黄鉄鉱である金属の黄味があった硫化鉄が、しばしば本物の金と間違えられた。探鉱者たちは黄鉄鉱に騙され、ぬか喜びした。



あなたは騙されていないか？

「愚か者は心の中で、『神(創造主)はいない』と言っている。」(詩篇14篇1節) イエス・キリスト自身も、次のように言っている。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」(ヨハネ14章6節)

ではどうすればよいか？

聖書は、救いについて明確な答えを提示している。

「神(創造主)は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子(イエス)を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3章16節)

- ・自分が罪人であることを認める (ローマ3章23節、ヨハネ1章8節)
- ・罪を悔い改める (使徒の働き17章30節)
- ・イエス・キリストを自分の人生の主として受け入れる (ヨハネ1章12節)
- ・永遠の命が創造主なる神からの贈り物であると理解する (ローマ6章23節)

・創造主からの贈り物を、信仰を持って、その言葉通りに受け取る（ローマ10章8節、10節）

・聖書の次の言葉を信じる：「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神（創造主）からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇るものがないためです。」（エペソ2章8～9節）

これらのことを、祈りの中で創造主なる神に言い表す。決まった祈りの形式というものはないが、次のように祈るとよいだろう。

「愛する創造主なる神様、私の罪を償うために、あなたのひとり子、主イエス・キリストをこの世に遣わしてくださり、ありがとうございます。イエス様が私のために十字架上で死んでくださったことを感謝します。私は自分が罪人であり、自分自身の力では自分を救うことができないということを認めます。あなたからの救いの贈り物を信仰によって受け取ります。私を救いたいと思うほどに愛してくださってありがとうございます。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン」

ゴールドより良いもの

聖書は、次のように言っている。

「なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神(創造主)はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ10章9節)

どうすれば救われたことを確信できるか。聖書は、それができると言っている。

「私が神(創造主)の御子(イエス)の名を信じているあなたがたに対してこれらのことを書いたのは、あなたがたが永遠のいのちを持っていることを、あなたがたによくわからせるためです。」(第1ヨハネ5章13節)

歴史の7つの「C」



Creation (天地創造)

初めに、創造主なる神が、6日の間に、全ての被造物を完璧にお造りになった（1日は通常の24時間の1日）。



Corruption (墮落)

最初の間であるアダムは、創造主の命令に背いた。アダムの罪は、全ての被造物に死と腐敗をもたらした。



Catastrophe (大洪水)

アダムの子孫は墮落して余りにも邪悪になったため、創造主なる神は、全世界を覆う大洪水という天変地異の大激変を起こして、世を裁かれた。このとき、ノアの造った箱船に入ったものだけが生き延びた。



Confusion (混乱)

洪水後、ノアの子孫が「地に満ちよ」という創造主の命令に従わず、バベルの塔を建てようとしたとき、創造主は彼らの言語を乱し、人類が地上に散らばるようにされた。



Christ(キリスト)

創造主は、イエス・キリストとして人の形をとって地上に来られた。最初の人アダムとは異なり、イエスは全てにおいて父なる神のみこころに従順な人であった。



Cross(十字架)

救い主(メシア)であるイエスは、十字架上で死に、創造主なる神に対する全人類の罪の代価を支払った。そして、死から甦り、信じる全ての人に命を与えている。



Consummation(新天新地)

いつかくる終わりのとき、創造主は全ての被造物を造り換えられる。死と不従順なものを滅ぼし、新しい天と新しい地とを創造され、そこで信じる者たちと永遠に住まわれる。

下記までご連絡ください

聖書の記す歴史と救いについて、更に詳しく知りたい方は、下記のウェブサイトをご覧ください。

www.answersingenesis.org

アンサーズ・イン・ジェネシス(Answers in Genesis: AiG)にご連絡くだされば、無料で書籍をお送りします。

Stefanie Cannon
Answers In Genesis
P.O. Box 510
Hebron, Kentucky 41048 U.S.A.

scannon@answersingenesis.org

AiGの姉妹団体が日本にもあり、聖書に基づく創造論の情報発信を行なっています。

クリエーション・リサーチ・ジャパン

Creation Research Japan

東京都立川市柴崎町3-9-18-202

TEL042-540-9904 FAX042-540-9905

office@sozoron.org www.sozoron.org

バンクーバーオリンピックの時期に、アンサーズ・イン・ジェネシス代表・創設者であるケン・ハムの講演会が開かれる予定です。興味がある方はぜひご参加ください。



CREATION MUSEUM

Prepare to believe.

The Creation Museum presents a "walk through history."

Designed by a former Universal Studios exhibit director, this state-of-the-art 70,000-square-foot museum brings the pages of the Bible to life while providing a fully engaging, sensory experience for guests.

Murals and realistic scenery, computer-generated visual effects, dozens of exotic animals, life-sized people and dinosaur animatronics, and a special-effects theater complete with misty sea breezes and rumbling seats are just some of the impressive exhibits that everyone in your family will enjoy.

For ticket and exhibit information, please visit us at creationmuseum.org.

NEAR CINCINNATI, OHIO